

ヤングケアラーの 現状と地域支援

西東京市子ども家庭支援センターのどか

ヤングケアラーとは？

- 大人が担うような家族の介護や世話を、18歳未満の子どもが行っていることを指します。
- 自らの育ちや教育に影響を及ぼしている可能性があります。

皆様のそばに

年齢や成長に見合わない

重い責任や負担を負っている

子どもはいませんか？





障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のある世話や見守りをしている



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している



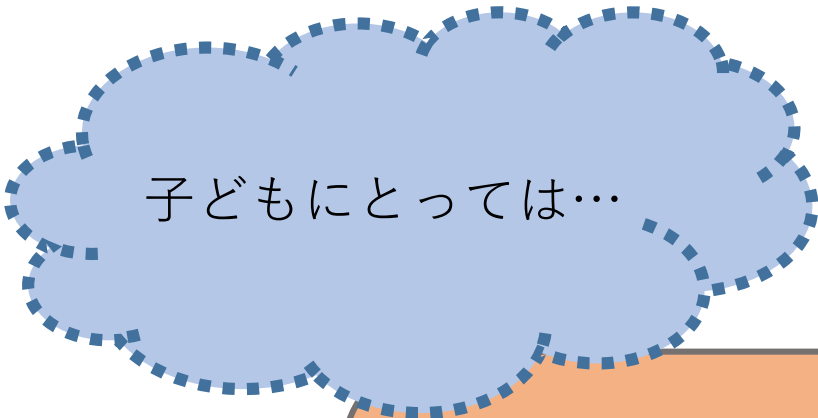
がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



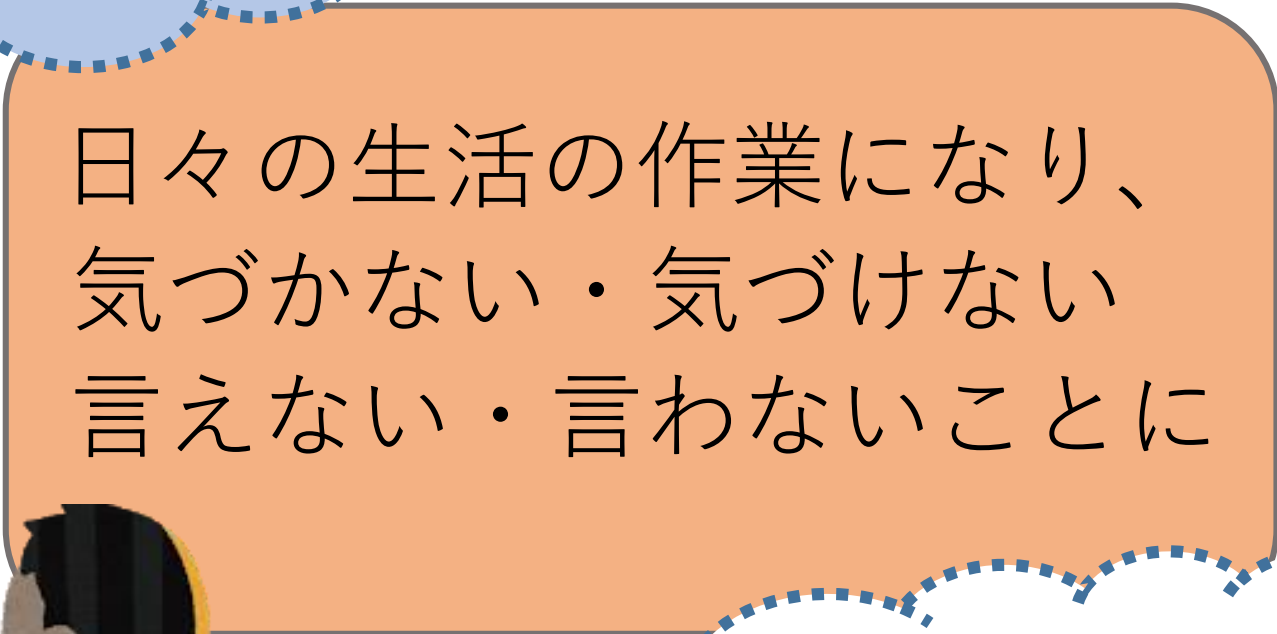
障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている



子どもにとっては…



日々の生活の作業になり、
気づかない・気づけない
言えない・言わないことに



**誰かが気づかないと
…長期化**



子ども家庭支援センターの日々の活動から思うこと…



子どもの成長は、幼少期から学齢期の大人の関わりが、思春期以降の人格形成に影響を及ぼしていると日々の活動から感じます。

ヤングケアラーの怖さは、子どもが生まれ育った家庭の方針にあらがうことなく、それが当たり前前の生活であると、子ども自身がSOSの発信が出来ず長期化することにあります。

西東京市子ども家庭支援センターは市全体で子どもの育ちを支えていくことを目指し努めてまいります。

